

新任医師紹介



整形外科医長
金子 真理子

2022年10月1日付で整形外科医長として着任いたしました、金子真理子と申します。1993年卒、1998年から2000年まで東海病院でお世話になっておりましたので、22年ぶりに戻ってきたということになります。その後は名古屋第一赤十字病院に約3年、半年間の出産休暇を経て、東名古屋病院に約18年、手外科も含めた整形外科一般診療、東名古屋病院では回復期リハビリテーション病棟や地域包括ケア病棟での診療、骨粗鬆症リハビリテーションサービスの構築にも携わっておりました。

久しぶりの急性期病院で緊張していますが、お役に立てるよう努力していきますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。



診療と交通のご案内

診療科目

内科、消化器内科、循環器内科、呼吸器内科、糖尿病内科、外科、消化器外科、血管外科、整形外科、リウマチ科、泌尿器科、眼科、脳神経外科、皮膚科、麻酔科、放射線科、リハビリテーション科

受付時間

| 診療受付時間 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | 日 |
|------------|---|---|---|---|---|---|---|
| 8:30~11:30 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ☆ | / |

休診日：日曜日・祝祭日・第2、4土曜日・年末年始

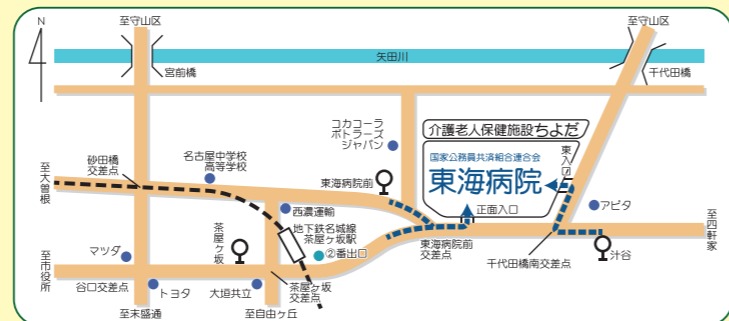
- ☆第1,3,5土曜日の午前中は診療を受付けております。
- ※整形外科は8:30~11:00までの受付です。
- ※眼科は月~金曜日の受付です。
- ※皮膚科は木曜日の午後(13:00~14:00)のみの受付です。
- ※脳神経外科は、火曜日・木曜日のみの受付です。
- ※血管外科は、金曜日のみの受付です。(金曜日8:30~11:00 下肢静脈瘤)
- ※ご予約をとられている方の変更・キャンセルは各科外来窓口までお願いします。(月曜日~金曜日14:00~16:00)

アクセス

- 地下鉄でお越しの場合
名鉄線「茶屋ヶ坂」駅②番出口より東へ300m(徒歩約7分)
- 市バス・名鉄バスでお越しの場合
栄から <名鉄・基幹バス> オアシス21 ③番のりば(引山行)「汁谷」下車 徒歩約1分
名古屋駅から <市バス> 名古屋駅/スターミナル ⑦番のりば(茶屋ヶ坂行)「茶屋ヶ坂」下車 徒歩約9分
名古屋駅から <名鉄・基幹バス> 名鉄バスセンター ④番のりば(三軒家行)「汁谷」下車 徒歩約1分
- 駐車場 100台

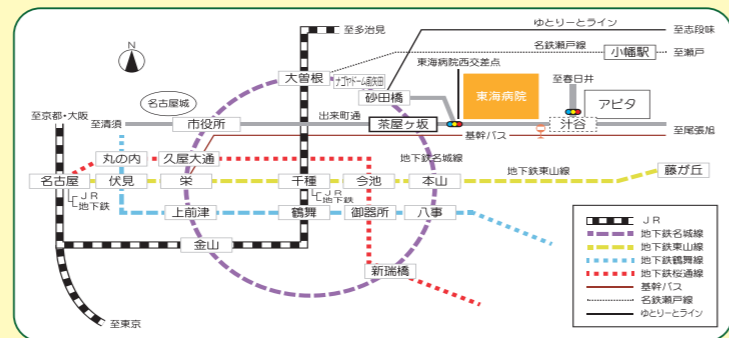
無料送迎車

- 運行日
月~金(土曜・日曜・祝祭日・12月29日~1月3日を除く)
- 乗降場所
地下鉄名城線茶屋ヶ坂駅循環送迎バス：
病院発 → 地下鉄名城線茶屋ヶ坂駅→タリー → 病院
名鉄瀬戸線小幡駅循環送迎バス：
病院発 → 名鉄瀬戸線小幡駅→タリー付近 → 病院



■名古屋駅方面から
出来町通りを瀬戸方面へ直進→東海病院前の交差点(三叉路)を通過しすぐ左折→東海病院正南入口からお入りください。

■瀬戸・引山方面から
瀬戸線(国道363号線、通称・基幹/スレソ〜出来町通)を名古屋方面へ千代田橋南交差点を右折→北進50Mの東入口からお入りください。



東海病院だより

東海病院憲章

東海病院は公共的な保健・医療・福祉サービスを行う施設であり、地域の人々の健康と福祉に資することを目的とする。

私たちのKoKoRo(心)構え

3つのS
誠意…Sincerity
奉仕…Service
考動…Science

東海病院職員は病院憲章の目的を達成するため、誠意・奉仕・考動の3つのSを大切にし、地域医療機関との緊密な連携に努め、限りない人間愛と責任をもって、地域の人々に保健・医療・福祉サービスを提供します。

病院の中期計画について

弘田 雅美

名城・東海病院合同症例検討会

丸田 真也

当院における潰瘍性大腸炎の5-ASA 不耐症例の検討

津田 美芽

介護老人保健施設ちよだでの新型コロナウイルス感染症のクラスター発生について

北村 雅一

老健ちよだの通所リハビリテーション(デイケア)はサービス提供時間を6時間にします!

三村 美穂

新任医師紹介

金子 真理子

診療と交通のご案内

東海病院

〒464-8512
名古屋千種区千代田橋一丁目1番1号

☎052-711-6131(代表)
☎052-712-0052

🌐https://www.toukaihos.jp/

東海病院

東海病院

東海病院

東海病院

東海病院

東海病院

東海病院

東海病院

東海病院

東海病院



とうかい

KKRとは?

国家公務員共済組合連合会の頭文字をとった略称です。

第78号 2022.10
編集責任者 丸田真也(副院長)



病院の中期計画について



事務部長 弘田 雅美



平素より、当院の運営にあたり格別のご配慮を賜り厚く御礼申し上げます。新型コロナウイルスは第7波となり、病院としてのコロナ対応は厳しい状況が続いておりますが、発熱外来やワクチン接種など当院で対応できることを行いながら、地域医療に貢献していきたいと思っております。

さて、今回は病院の運営について説明させていただきます。病院は、5カ年の中期計画と毎年作成する事業計画に基づいて運営しております。本年度は平成30年度から始まった第三次中期計画の最終年度であり、次期中期計画(第四次中期計画)を策定する年度となりますので、現在様々な職種が集まり内容を検討しております。

この次期中期計画では、今後5年間における病院の取組みを定める必要があり、令和6年度から始まる第8次医療計画、医師の時間外労働上限規制、地域医療構想などへの対応が求められます。また医療へのデジタル技術の活用など医療DXの推進も検討しなければなりません。マイナンバーカードを活用したオンライン資格確認は既に導入しておりますが、オンライン診療への対応やAI等を活用した患者サービスの向上への取り組みは重要課題となります。あわせて、これから加速する少子高齢化・人口減少社会に対して、当院としてどのように対応していくかを考え、必要なことを精査して第四次中期計画を策定していきたいと考えております。

最後に、健康管理センターの一部リニューアルについて、ご報告いたします。健康管理センターは、主に人間ドックと健康診断を行うところですが、平成7年に建築して築27年が経過してまいりましたので、床と壁の張り替えを行い、ソファを新調しました。また採血場所についても、受検者のプライバシーと安全性を確保した配置に変更しております。是非、新しくなった健康管理センターで人間ドックを受けていただきたいと思います。

当院は、地域の医療機関等と連携し、地域社会の中で保健・医療・福祉サービスを行う施設です。その役割を果たしていくことが当院の使命と考えておりますので、今後ともよろしくお願い申し上げます。



名城・東海病院合同症例検討会

副院長 兼 地域連携室長 丸田 真也



去る10月1日(土)の午後、秋晴れのもとKKRホテル名古屋にて名城病院と合同の病診連携症例検討会を開催しました。コロナ禍のため合同の会は2年半ぶりで、ハイブリッド形式で行われました。

今回は一般演題各病院1題ずつと特別講演1題でした。一題目は名城病院外科主任部長の関崇先生より「消化器癌標準治療の現状名～ガイドライン改訂点を中心に～」の演題名で、消化器癌のガイドラインの最新情報を教えて頂きました。二題目は当院消化器内科、津田美芽医師より「当院における潰瘍性大腸炎の5-ASA不耐症例の検討」の発表がありました。特別講演は名古屋大学腎臓内科教授の丸山彰一先生を3年越しにお招きし「慢性腎臓病CKD診療の課題と展望」をご講演頂きました。CKDの疫学、診断と治療、腎移植について解り易くお教え頂きました。

当日は、35名の病診連携登録医の先生方(内WEB参加9名)にご参加頂き、東海病院職員18名、名城病院職員68名(内WEB参加6名)、合計121名と盛況でした。検討会の後に円卓での着席形式で懇親会を行いました。アクリル板越しでしたが久しぶりに先生方と歓談することができました。

次回は来年3月18日(土)に開催予定です。

当院における潰瘍性大腸炎の5-ASA不耐症例の検討

消化器内科医師 津田 美芽



近年発症者が増加傾向にある潰瘍性大腸炎の治療について、軽症中等症の第一選択薬は5-ASA製剤であり、70%程度は5-ASAのみで寛解導入維持できるため、5-ASAはUC治療のkey drugです。5-ASAの副作用の中でも、発熱、下痢、腹痛、血便の増悪など腹部症状を呈するものを5-ASA不耐と言います。UCそのものの増悪や感染性腸炎の症状とも似ているため、鑑別に苦慮することも多いもので、最近頻度も増加傾向です。そこで当院における潰瘍性大腸炎の5-ASA不耐および副作用の症例8例を提示しました。5-ASA投与開始後、中央値9日で不耐症状、および副作用を発症し、7例中6例でDLST陽性(陽性率86%)でした。DLSTの結果が一陰性、あるいは±疑陽性である、他の5-ASA製剤へローテーションを試みた、6例中4例(67%)では症状の再燃、2例では成功(33%)しました。5-ASA内服開始後10日前後で腹部症状悪化した場合、5-ASA不耐の可能性を意識し、疑いがあれば躊躇なく5-ASA中止する必要があると示唆されました。5-ASA不耐は一般的に頻度が約1割、発症は5-ASA内服開始10日ぐらいが多く、特に、5-ASA初回投与時や、投与量増量時、ジェネリック含めた他剤5-ASAへの変更時は特に不耐の出現に注意が必要です。DLSTは補助診断として施行し、5-ASA中止にて症状が改善した場合に不耐と診断されます。治療は5-ASA中止とし、ステロイドや血球除去療法による寛解導入のうえ、免疫調節薬や生物学的製剤で寛解維持とします。DLSTが陰性、かつ軽症不耐例なら他5-ASA製剤への変更(ペンタサ減感作療法)でうまくいくことがあります。

| 症例 | 一時的な症状改善 | 不耐発症日(日) | 発症までの日(日) | 症状 |
|-----|----------|----------|-----------|----|
| 症例1 | あり | 10 | 発熱、下痢、腹痛 | |
| 症例2 | あり | 10 | 発熱、下痢 | |
| 症例3 | あり | 9 | 下痢 | |
| 症例4 | あり | 11 | 発熱、下痢 | |
| 症例5 | あり | 8 | 下痢、血便 | |
| 症例6 | なし | 1 | 下痢 | |
| 症例7 | なし | 1 | 皮膚 | |
| 症例8 | なし | 2 | 嘔気 | |

中央値 9

| 初回5-ASA | サラゾピリン | ペンタサ | アサコール | リアルダ | 5-ASA-アレルナ | 症状再燃 |
|---------|--------|------|-------|------|------------|------|
| 症例1 | ペンタサ | - | + | + | あり | |
| 症例2 | リアルダ | - | + | + | | |
| 症例3 | アサコール | - | + | + | あり | |
| 症例4 | リアルダ | - | - | - | | |
| 症例5 | リアルダ | + | - | + | あり | |
| 症例6 | リアルダ | - | + | + | なし | |
| 症例7 | リアルダ | - | + | + | あり | |
| 症例8 | リアルダ | - | - | + | なし | |



介護老人保健施設ちよだでの新型コロナウイルス感染症のクラスター発生について

新型コロナウイルス対策チームリーダー 北村 雅一



令和4年8月4日、老健ちよだ2階の発熱した入所者よりコロナ感染が確認されました。翌日には同フロアの入所者5人が感染、6日3人、7日6人…と瞬く間に増加し、最終的に2階入所者総数54人のうち34人、施設スタッフ6人の感染を確認、合計40人の大規模クラスターとなりました。

この規模の数の患者を東海病院で入院させるのは不可能と判断し、老健2階フロアで診療しました。しかし老健施設は元々療養の場であって、治療をしていくことは考えられておらず、病院ではできても老健でできないことがたくさんありました。例えば酸素投与する装置がない、痰を吸引する装置がない、点滴台もない…老健で治療していくにはたくさんの壁が立ち上がりましたが、看護職員は病院からも応援に入ってもらう、介護士、事務員など、総出で環境整備と治療にあたり、何とか終息させることができました。この間、関係各所の皆様には大変なご迷惑とご不便、ご心配をおかけしました。この場を借りてお詫び申し上げます。

第7波は全国的にも相当の感染患者数を記録し、名古屋市内でも多くの医療関係施設でのクラスター発生が見られました。東海病院では入院患者に突然COVID-19が発生した例が数例ありましたがクラスターにまで発展することはなく、感染対策が功を奏しているものと思われまます。老健では今まで発生は1例もありませんでしたが、今回クラスターとなりました。食堂に皆で会して食事を摂ること、認知機能の低下により黙食やマスク装着などの一般的な感染対策を守れない方が相当数いらっしゃるこの他、当施設職員が媒介したと思われる発生例もあり、老健施設としての感染対策の難しさを痛感しました。

老健ちよだの通所リハビリテーション(デイケア)はサービス提供時間を6時間にします!

理学療法士 三村 美穂



- *介護老人保健施設ちよだの日帰りサービス(通所リハビリテーション:デイケア)は、1年半ほど短時間(3時間)のサービス提供をしておりましたが、令和4年10月より入浴もできる6時間のサービス提供に変更いたします。
 - *ちよだのデイケア特徴は、**広いスペース**で、「**歩く**」ことに重きをおいたデイケアです。
 - *近隣の事業所にはない広々としたスペースでのびのびと運動を行っていただけます。
 - *運動は、低負荷で頻回に行っていただく、または運動をゆっくり行うこと(スロートレーニング)を意識して、効果的な運動を行います。また、姿勢の保持を意識することで体幹の機能を高めます。
 - *長い歩行路:施設内には、東西に約40mの直線の廊下があります。また、広大な敷地内で、スロープ、不整地を使いながら屋外歩行もスタッフがついて行います。
 - *特に骨折や、脳血管疾患などで入院され、退院された後、在宅へ復帰されると、毎日数時間のリハビリを行っていた入院生活から運動量が急激に減ることになるため、機能の低下が危惧されます。退院後も機能の維持をはかりながら、健康的な在宅での生活が継続できるよう、支援させていただきます。
- ご興味のある方は、お気軽にご連絡ください。

介護老人保健施設ちよだ デイケア 直通電話(052)711-1061